

# 平成27年度 業務実績報告書

平成28年6月

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

I 法人の概要

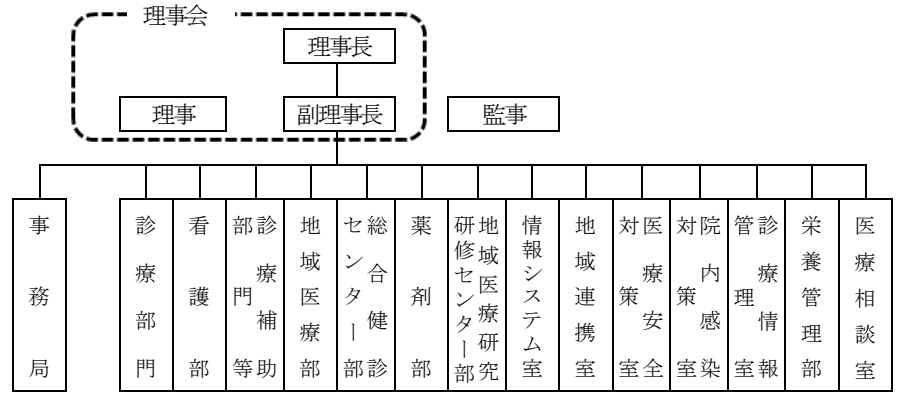
1 法人の現況

- (1) 法人名称  
地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院
- (2) 所在地  
岐阜県下呂市森2 2 1 1
- (3) 設立年月日  
平成22年4月1日

(4) 役員の状況 (平成27年4月1日現在)

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	山森 積雄
副理事長	常勤	鈴木 康
理事	非常勤	大塚 正義
理事	常勤	河合 久美子
理事	常勤	藤枝 紀夫
監事	非常勤	堀 雅博
監事	非常勤	井上 学

(5) 組織図



(6) 職員数 (平成27年4月1日現在)

職種	常勤	非常勤	計
医師	19名	※ 2名	21名
看護師	187名	21名	208名
コメディカル	59名	5名	64名
事務ほか	33名	49名	82名
計	298名	77名	375名

※ 医師はフルタイム非常勤

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院は、平成22年度の設定以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、地域の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

設立から平成26年度までの第1期中期目標期間中においては、理事長の強いリーダーシップの下、職員一丸となって診療機能の充実・強化を図り、免震機能及び屋上ヘリポートを備えた新病院建設や高度医療機器の導入など目標としてきた質の高い医療サービスの効果的な提供に努めたものの、経常収支比率100%の達成は厳しい見通しとなった。

一方、医療を取り巻く環境は、社会保障・税一体改革大綱（平成24年2月17日閣議決定）において、急性期をはじめとする医療機能の強化、病院・病床機能の役割分担・連携の推進、在宅医療の充実などに取り組み、団塊世代が75歳以上となる平成37年に向けて医療提供体制の再構築や地域包括ケアシステムの構築を図ることとされている。

このため、第2期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第1期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自律性・機動性・透明性の高い病院運営に努め、飛騨地域の中核病院として、都市部の病院と同様に、県民が必要とする安全・安心・良質な医療を提供するとともに、地域の医療施設との間で病診連携を推進することで、飛騨地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項

平成26年5月に新築移転した新病院の機能を活用し、飛騨南部地域における中核病院として、下記の役割を担う。

- ・地域医療の教育・研究（地域医療研究研修センターの機能）
- ・へき地医療の提供と支援
- ・高度急性期医療の提供
- ・地域災害医療の提供
- ・終末期医療（入院・在宅）の提供
- ・医療従事者の確保
- ・地域医療機関等との連携

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地（平成26年5月1日から）

岐阜県下呂市森2211

(3) 沿革

昭和28年7月1日 岐阜県立下呂病院 開設

昭和35年5月4日 名称変更「岐阜県立下呂温泉病院」

平成26年5月1日 下呂市森へ新築移転

(4) その他(平成27年4月1日現在)

主な役割 及び機能	<input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院
診療科	内科、腎臓内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、胸部外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科
許可病床数	一般病床 206床
看護体制	7対1（地域包括ケア病棟及び回復期病棟については、13対1）
年間延患者数 (H27実績)	入院 55,812名 外来 87,224名

建物面積	19,594㎡
理念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。
基本方針	1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。

## II 全体的な状況

### 1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

#### 1-1 診療事業

多様な手段の積極的活用による医師確保の取り組みや、資格取得の促進・専門研修参加への支援、医療安全・院内感染防止対策の確立などにより、飛騨地域の基幹病院として必要な

- ・医療従事者の資質向上
- ・患者サービス、院内環境の快適性向上
- ・診療体制の充実
- ・へき地医療の拠点機能の充実

を図り、急性期医療・政策医療など地域県民が必要とする医療の提供に努めた。

#### 1-2 調査研究事業

調査研究の推進、診療等で得られた情報の活用や保健医療情報の発信のため

- ・マタニティエクササイズなどの公開教室の開催
- ・病院広報誌による保健医療情報の提供
- ・院内活動に関してインターネットでの情報提供
- ・NCD、NOBUNAGA研究、院内がん登録など医療情報データベースへのデータ提供

を行い、県民の健康意識向上に努めるとともに、医療情報データベースの構築に寄与した。

#### 1-3 教育研修事業

平成26年度の臨床研修医1名の受入れに引き続き、平成27年度においても新たに1名の臨床研修医を受入れ、基幹型の臨床研修病院として初期臨床研修（1年目：1名、2年目：1名）を実施した。また、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜市民病院からの臨床研修医の研修協力施設として、「地域医療研修（1ヶ月）」の受け入れを行い、医師の養成に努めた。

さらに、下呂看護専門学校看護学生や下呂市消防本部の救急救命士などの地域医療従事者の実習受け入れを行い、教育・研修の充実を図った。

#### 1-4 地域支援事業

地域医療機関や在宅医療への支援として、

- ・東白川村国保診療所等への医師の派遣による人的支援
- ・地域開業医等の当院医療機器の共同利用の推進
- ・褥瘡対策出張講座

を行った。

また、社会的要請に対して、講師派遣の協力等により地域支援に努めた。

#### 1-5 災害等発生時における医療救護

医療救護活動の拠点機能を担うため、災害発生時に備えて体制の充実、訓練を実施した。

### 2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

人員の弾力的配置と地方独立行政法人のメリットを活かした人材確保により、看護体制の確保を図るとともに、業務運営の見直しや効率化・費用節減の徹底などによる収支改善に努めた。

また、経営効率の高い業務執行体制の確立のため、職員と管理者との意見交換会開催による風通しの良い組織運営と、経営情報の共有による職員の経営意識の向上を図ることができた。

### 3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）

医師不足に伴う患者数の減少により、医業収益の確保が非常に困難な状態が続いている。

特に入院収益については、1日1人あたり単価が「37,038円」と平成26年度より「2,281円」低下しており、患者数が伸びているにもかかわらず、その収益累計額は平成26年度並みの水準に留まった。外来収益は順調に推移しているものの、総利益は▲511百万円となり、経常収支比率は収支計画89.5%に対して、決算では86.6%と、年度計画を達成することができなかった。

また職員給与費対医業収益比率については、人件費コストに見合う医業収益が確保されていないことから、収支計画71.8%に対し、決算では80.9%となり、収支計画の比率を9.1ポイント下回ることとなり、目標を達成することができなかった。

来期以降も中期計画で定める経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指し、継続して経営努力を行っていく。

なお平成27年度に実施した旧病院にかかるとの解体工事等については、下呂市への売却を以て、移転登記等すべての手続きが完了した。収支決算上は、臨時利益又は臨時損失として計上されている。

### 4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

#### 就労環境の向上

職員の就労環境の向上のため、院内保育所の体制強化、人間ドック事業・定期健診の院内実施・健康管理セミナー開催などの健康管理対策を実施した。

また平成28年3月には、ユニオンショップ協定の締結により、組織率アップと労使による適正な労働環境を確立することができた。

#### 医療機器整備

新病院の移転改築に伴い維持管理経費等が増大したことから、医療機器の整備については必要最低限に止めたが、病院事業債を活用し、新生児聴力検査装置等の整備を行うなど、地域医療の充実を図った。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅲ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅲ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅲ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅲ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅲ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅲ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-3 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立	14	Ⅲ	
1-5-4 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	15	Ⅲ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 効果的な組織体制の確立	16	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	17	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの構築	18	Ⅲ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	19	Ⅲ	
2-1-5 コンプライアンスの徹底	20	Ⅲ	
2-1-6 適切な情報管理	21	Ⅲ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	22	Ⅲ	
2-2-2 収入の確保	23	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	24	Ⅲ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	25	Ⅱ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の就労環境の向上	26	Ⅲ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項	27	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備に関する事項	28	Ⅲ	
8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	29	Ⅲ	

#### IV 項目別の状況

##### 1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期目標	<p>1-1 診療事業 飛騨地域の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、高度・先進医療、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供          法人が有する医師、看護師、コメディカル等や、先進かつ高度な医療機器といった人的・物的資源を有効に活用し、高度で専門的な医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。          特に、医師、看護師、コメディカル等の優秀な医療スタッフの確保や各職種の専門性の向上を図るための教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。          また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、科学的な根拠に基づく医療の推進、クリニカルパスの推進、チーム医療体制の充実、メディカカードの導入などITの活用を努めること。          さらに、医療事故を未然に防ぎ、患者が安心して治療に専念できる安全・安心な医療と治療環境を提供できるよう、院内感染対策など医療安全対策を徹底すること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上          来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実など、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めること。          また、病院運営に関し、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実          医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実など診療体制の整備・充実を図ること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携          近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリティカルパスの活用など地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて飛騨地域の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。          また、救急医療コミュニティシステムを利用した医療画像等の患者情報の共有など他の医療機関との連携による医療提供の促進を図ること。          さらに、円滑に在宅医療・療養へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療          高度・先進医療、急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を重点的に実施すること。          特に、専門的なりハビリ治療の実施など、予防から治療・回復に至る一貫した高度・専門的な医療の提供に加え、へき地医療の拠点病院として診療所への医療支援、高齢人口が多い地域性を踏まえた診療科機能の充実及び在宅療養支援の充実を図ること。          また、第2次救急告示病院としての役割を維持すること。</p>
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H27年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証	
					検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項
01	※ より質の高い医療の提供 1 高度医療機器の計画的な更新・整備		1 高度医療機器の計画的な更新・整備 病院移転後の財務状況から、高額な機器については補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としていた。 27年度に更新を予定していた核医学検査装置及び手術用顕微鏡システムについては、補助事業採択を得られなかったため、平成28年度に、各種助成制度等を活用して購入する予定。(●)	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																										
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																									
	2 医師、看護師、コメディカル等の 医療従事者の確保	<p>2 医師、看護師、コメディカル等の医療従事者の確保</p> <p>○医師の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師募集エージェントへの登録 (インターネットの活用) 5社に募集情報を登録</li> <li>・医師採用窓口アウトソーシングサービスとの契約締結</li> <li>・常勤医不在の診療科(小児科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、眼科)及び常勤医不足の診療科については、大学病院・県総合医療センター等からの支援医師(非常勤)により、診療体制を確保して診療を実施し、地域県民ニーズに対応した医療の推進を図った。</li> </ul> <p>診療依頼延べ回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,842 回</td> <td>1,774 回</td> <td>2,008 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保</p> <p>看護部において、ワークライフバランス(WLB:仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み)の推進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職後の看護師が患者搬送を中心となって行うポーター制度を導入することにより、病棟看護師が部署を離れずケアに専念できるよう取り組んだ。</li> <li>・安全で安心な看護そして拘束時間短縮につながるよう一部の病棟で PNS 看護提供方式の試行、非常勤看護師や看護補助者の勤務パターンを増やすなどにより、看護職員の負担を軽減</li> </ul>	25 年度	26 年度	27 年度	1,842 回	1,774 回	2,008 回	<p>更新・整備を行った高度医療機器の稼働件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>整備年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム</td> <td>H25</td> <td>777</td> <td>980</td> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td>X-TV 透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>314</td> <td>311</td> </tr> <tr> <td>MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)</td> <td>H25</td> <td>—</td> <td>2,846</td> <td>3,321</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26, H27 高度医療機器の整備実績なし</p>	機器名	整備年度	25 年度	26 年度	27 年度	内視鏡ビデオシステム	H25	777	980	1,059	X-TV 透視診断装置	H25	—	314	311	MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	—	2,846	3,321		
25 年度	26 年度	27 年度																													
1,842 回	1,774 回	2,008 回																													
機器名	整備年度	25 年度	26 年度	27 年度																											
内視鏡ビデオシステム	H25	777	980	1,059																											
X-TV 透視診断装置	H25	—	314	311																											
MRI (超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T)	H25	—	2,846	3,321																											

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																						
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																					
3	大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成	<p>し、働きやすい職場作りを目指した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WLB推進事業委員会を毎月開催し、院内誌「かえる通信」(年4回発行)を通じて、職員紹介、福利厚生情報等の提供を行った。</li> <li>・法人化のメリットである弾力的な職員採用を行い、平成27年度中に随時募集をかけ、看護体制の維持に必要な看護師等を確保した。</li> </ul> <p>看護師等に係る採用活動の実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種別</th> <th>H26</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(常勤) 看護師</td> <td>9</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(非常勤) 看護師</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4.1採用者は、前年度の採用状況を含む。</p>	職種別	H26	H27	(常勤) 看護師	9	8	助産師		1	保健師	2		(非常勤) 看護師	3	3	(業務補助) 看護師	4	5	<p>3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成</p> <p>協力型の臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修(1ヶ月)」について他病院の臨床研修医の受入れを行った。</p> <p>受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病院名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>5名</td> <td>5名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>県総合医療センター</td> <td>名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>7名</td> <td>2名</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>12名</td> <td>10名</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>	病院名	25年度	26年度	27年度	岐阜大学医学部附属病院	5名	5名	3名	県総合医療センター	名	3名	4名	岐阜市民病院	7名	2名	名	計	12名	10名	7名		
職種別	H26	H27																																									
(常勤) 看護師	9	8																																									
助産師		1																																									
保健師	2																																										
(非常勤) 看護師	3	3																																									
(業務補助) 看護師	4	5																																									
病院名	25年度	26年度	27年度																																								
岐阜大学医学部附属病院	5名	5名	3名																																								
県総合医療センター	名	3名	4名																																								
岐阜市民病院	7名	2名	名																																								
計	12名	10名	7名																																								



項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																											
4	認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進		<p>4 認定看護師等看護の専門性を高める資格取得の促進</p> <p>○認定看護師</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下認定看護師 1名合格</li> <li>・認定看護管理者養成教育課程 1名受講</li> <li>・ファーストレベル 1名終了認定</li> </ul> <p>○「新人看護職員教育研修」に従事する職員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修責任者研修 2名</li> <li>・教育担当者研修 1名</li> <li>・実地指導者研修 2名</li> </ul> <p>○その他の専門研修参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護補助者活用推進研修 2名</li> <li>・災害ナース育成フォローアップ 1名</li> <li>・重症度・医療・看護必要度院内指導者研修 1名</li> </ul> <p>認定看護師数(各年度末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下</td> <td></td> <td></td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>	分野	25年度	26年度	27年度	皮膚排泄ケア	1名	1名	1名	感染管理	1名	1名	1名	脳卒中リハビリテーション	1名	1名	1名	緩和ケア	1名	1名	1名	摂食・嚥下			1名	計	4名	4名	5名		
分野	25年度	26年度	27年度																														
皮膚排泄ケア	1名	1名	1名																														
感染管理	1名	1名	1名																														
脳卒中リハビリテーション	1名	1名	1名																														
緩和ケア	1名	1名	1名																														
摂食・嚥下			1名																														
計	4名	4名	5名																														
5	コメディカルに対する専門研修の実施		<p>5 コメディカルに対する専門研修の実施</p> <p>コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。</p> <p>○コメディカルの研修会・学会参加人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>6名</td> <td>5名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>9名</td> <td>11名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	25年度	26年度	27年度	薬剤師	6名	5名	8名	検査技師	9名	11名	12名																		
職種	25年度	26年度	27年度																														
薬剤師	6名	5名	8名																														
検査技師	9名	11名	12名																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																								
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																							
6	EBMの推進		<table border="1"> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>12名</td> <td>12名</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>放射線技師</td> <td>2名</td> <td>14名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>リハビリ技師</td> <td>12名</td> <td>22名</td> <td>24名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>1名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42名</td> <td>67名</td> <td>70名</td> </tr> </table> <p>6 EBMの推進 電子カルテ運用において、診療の標準化を図るためのシステム設定を必要に応じ実施し、医療情報システムの有効活用を努めた。 今後、地域包括ケア病棟の利用を推進することで、7：1病棟の平均在院日数の短縮を図り、また、介護施設を含む在宅復帰を支援するため、クリニカルパスの見直し、改善、作成に取り組む。</p> <p>クリニカルパス種類数・使用数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(産婦人科)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>258</td> <td>298</td> <td>265</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>98.8</td> <td>99.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>(内科)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>55</td> <td>71</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>(小児科)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類数</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>使用数</td> <td>—</td> <td>133</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>適用率</td> <td>—</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	臨床工学技士	12名	12名	7名	放射線技師	2名	14名	15名	リハビリ技師	12名	22名	24名	管理栄養士	1名	3名	4名	計	42名	67名	70名	区分	25年度	26年度	27年度	(産婦人科)				種類数	22	20	23	使用数	258	298	265	適用率	98.8	99.0	100.0	(内科)				種類数	3	3	3	使用数	55	71	53	適用率	100.0	100.0	100.0	(小児科)				種類数	—	12	17	使用数	—	133	227	適用率	—	100.0	100.0		
臨床工学技士	12名	12名	7名																																																																										
放射線技師	2名	14名	15名																																																																										
リハビリ技師	12名	22名	24名																																																																										
管理栄養士	1名	3名	4名																																																																										
計	42名	67名	70名																																																																										
区分	25年度	26年度	27年度																																																																										
(産婦人科)																																																																													
種類数	22	20	23																																																																										
使用数	258	298	265																																																																										
適用率	98.8	99.0	100.0																																																																										
(内科)																																																																													
種類数	3	3	3																																																																										
使用数	55	71	53																																																																										
適用率	100.0	100.0	100.0																																																																										
(小児科)																																																																													
種類数	—	12	17																																																																										
使用数	—	133	227																																																																										
適用率	—	100.0	100.0																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
7	専門性を発揮したチーム医療の推進		<p>7 専門性を発揮したチーム医療の推進 各分野毎に委員会を組織し、課題や対策等の検討を行うなど、チーム医療の推進を図った。インシデント・アクシデント発生時の対応など医療安全対策室専従看護師が中心となり、各部門との情報収集・意見交換、連絡・調整・相談などを実施した。</p> <p>医療安全管理委員会 : 12 回開催 医療安全対策室会議 : 47 回開催 看護事故防止委員会 : 12 回開催 褥瘡対策委員会 : 11 回開催 ほか</p>																			
8	メディカカードの導入などの I T の活用		<p>8 メディカカードの導入などの I T の活用 診察券の I C カード化にあたり、既に先行導入しているメディカカードとの共通化(共同運用)を視野に検討を行った。</p>																			
9	医療安全対策の充実		<p>9 医療安全対策の充実 ○インシデント・アクシデント報告の分析及び改善方策の共有化 ・リスクマネジメントシステム SafeProducer を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめとインシデントレベル2 及び3 (事故報告書)について各会議にて分析・検討し対策立案を行った。 またインシデント報告事例で情報共有が必要なものに関して分析をおこなった。</p> <p>インシデント・アクシデント件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>936 件</td> <td>975 件</td> <td>1233 件</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>13 件</td> <td>9 件</td> <td>8 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>949 件</td> <td>984 件</td> <td>1241 件</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25 年度	26 年度	27 年度	インシデント	936 件	975 件	1233 件	アクシデント	13 件	9 件	8 件	計	949 件	984 件	1241 件			
区分	25 年度	26 年度	27 年度																			
インシデント	936 件	975 件	1233 件																			
アクシデント	13 件	9 件	8 件																			
計	949 件	984 件	1241 件																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																	
10	院内感染防止対策の確立		<p>○医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">研修名</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> </tr> <tr> <th>実施数</th> <th>参加数</th> <th>実施数</th> <th>参加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2回</td> <td>626名</td> <td>2回</td> <td>626名</td> </tr> <tr> <td>医療機器学習会</td> <td>5回</td> <td>63名</td> <td>2回</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>薬剤学習会</td> <td>3回</td> <td>43名</td> <td>2回</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>検査学習会</td> <td>1回</td> <td>5名</td> <td>1回</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>臨時研修会</td> <td>2回</td> <td>61名</td> <td>3回</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>新人研修</td> <td>8回</td> <td>57名</td> <td>8回</td> <td>76名</td> </tr> <tr> <td>看護補助者対象研修会</td> <td>2回</td> <td>30名</td> <td>2回</td> <td>30名</td> </tr> <tr> <td>B L S 研修会</td> <td>5回</td> <td>42名</td> <td>2回</td> <td>38名</td> </tr> </tbody> </table> <p>10 院内感染防止対策の確立</p> <p>○院内感染防止マニュアルの整備・周知            マニュアルを見直し改定。紙媒体のファイルを配備し、さらに電子版をグループウェアに格納した。</p> <p><b>【改定内容】</b>            使用後器具の処理、廃棄物区分と処理手順、標準予防策と感染経路別予防策、MRSA感染対策、結核感染対策、疥癬感染対策マニュアル、腸管感染症対策マニュアル、感染症法に基づく医師の届出</p> <p>○感染管理教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入転入職員研修4回 (H26実績:4回)</li> <li>・全体研修会 延546名 (H26実績:369名)             <ul style="list-style-type: none"> <li>①アウトブレイク事例からの学び:(331名)</li> <li>②サージカルマスクの使い方 : (163名)</li> <li>③ノロウイルス・インフルエンザ:(52名)</li> </ul> </li> <li>・Eラーニング:看護部ラダー研修</li> <li>・グループウェアを利用した情報発信 (NEWS レター、感染</li> </ul>	研修名	H26		H27		実施数	参加数	実施数	参加数	医療安全全職員研修会	2回	626名	2回	626名	医療機器学習会	5回	63名	2回	10名	薬剤学習会	3回	43名	2回	12名	検査学習会	1回	5名	1回	6名	臨時研修会	2回	61名	3回	17名	新人研修	8回	57名	8回	76名	看護補助者対象研修会	2回	30名	2回	30名	B L S 研修会	5回	42名	2回	38名		
研修名	H26		H27																																																			
	実施数	参加数	実施数	参加数																																																		
医療安全全職員研修会	2回	626名	2回	626名																																																		
医療機器学習会	5回	63名	2回	10名																																																		
薬剤学習会	3回	43名	2回	12名																																																		
検査学習会	1回	5名	1回	6名																																																		
臨時研修会	2回	61名	3回	17名																																																		
新人研修	8回	57名	8回	76名																																																		
看護補助者対象研修会	2回	30名	2回	30名																																																		
B L S 研修会	5回	42名	2回	38名																																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																					
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
			症流行情報等) ・感染防止対策テスト実施(針刺し、マイコプラズマ、インフルエンザ、ノロウイルス)  ○ラウンドによる感染対策実施状況のチェック ・感染性廃棄物の管理状況、分別状況 ・感染経路別予防策実施状況 ・手指衛生の実施状況 ・防護具の実施状況 ・感染対策地域連携加算についての相互チェック (高山赤十字病院より受審)  ○院内感染発生に対して ・全室個室化のメリットにより、外部機関に報告を要する院内感染事案はなかった。 ・院内感染事例発生時は、4M4E分析(具体的要因4点と要因の対策4点の視点で考える分析手法)によって事例を振り返り改善策をあげ、再発防止に取り組んだ。																							
02	※ 患者・住民サービスの向上 1 待ち時間の改善等		1 待ち時間の改善等 ○待ち時間対策 外来患者満足度調査の中で、待ち時間に関する意見が多くみられるため、待ち時間対策として下記事項に取り組んだ。 ・診察の遅れについては、できるだけ正確に診察の進行状況に係る情報を提供 ・看護師による待合室の巡視(患者の急変や気分不快等の早期発見に努める)と患者への積極的な声掛けの推進 ・小児科外来における図書コーナーでの、持ち帰り可能な雑誌等の設置  ○外来診療待ち時間調査 <table border="1" data-bbox="1205 1292 1736 1417"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間 ・初診患者</th> <th colspan="2">25 年度</th> <th colspan="2">26 年度</th> <th colspan="2">27 年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> <th>人数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>48</td> <td>77</td> <td>67</td> <td>81</td> <td>65</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間 ・初診患者	25 年度		26 年度		27 年度		人数	%	人数	%	人数	%	なし	48	77	67	81	65	87	III		
待ち時間 ・初診患者	25 年度		26 年度		27 年度																					
	人数	%	人数	%	人数	%																				
なし	48	77	67	81	65	87																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)							自己 評価	評価委員会の検証	
											検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			1～30分	10	16	12	14	9	12			
			31～60分	1	2	4	5	1	1			
			61分以上	3	5	0	0	0	0			
			待ち時間 ・再診患者	25 年度		26 年度		27 年度				
				人数	%	人数	%	人数	%			
			なし	166	72	228	81	176	76			
			1～30分	56	24	47	17	46	20			
			31～60分	7	3	7	2	9	4			
			61分以上	3	1	0	0	1	0			
	2 院内環境の快適性の向上		<p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>○患者サービス向上委員会では、ご意見箱からの意見などを院内の掲示板でフィードバックしているほか、院内環境改善についての要望などを検討し、改善に努めた。</p> <p>○病院内の清掃だけでなく、病院周辺の清掃も患者サービス向上委員会が主体となって病院周辺の清掃を9月17日に行う計画を立てたが、2度の雨天により中止となった。</p> <p>○個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について患者を訪問し、栄養管理指導を行った。患者に食事内容をより理解していただくと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事の提供を実施した。</p>									
				25 年度		26 年度		27 年度				
			栄養管理計 画書作成件 数	1,867 件	1,706 件	1,360 件						
			※医師指示分のみを実施									
			○平成27年10月31日に開催した「病院まつり」では、コンサートや健康相談、栄養・感染防止・摂食嚥下・床ずれ防									

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
	3 医療に関する相談体制の充実		<p>止・スキンケア・ベビーピクス等の相談・指導を行った。(来場者数 300 名+職員ボランティア 110 名)</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実 ○医療相談室には、社会福祉士 2 名、看護師 3 名の計 5 名の職員が常駐しており、患者・家族からの医療情報に関する相談・苦情について対応した。 問題事象への発展が懸念されるものは情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。</p> <p>相談件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療福祉相談</td> <td>2,038 件</td> <td>1,649 件</td> <td>2,654 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○接遇マナー 5 原則（1 表情、2 態度、3 挨拶、4 身だしなみ、5 言葉遣い）をもとに、強化月間を設けポスターの掲示や呼びかけを行った後アンケートを行い達成度の評価をした。(看護部 2 回/年、全体 1 回/年) 接遇マナーチェックシートを、H27.10 月に、委託職員を含む 443 名に配布 98%の回収率であった。</p> <p>マナーチェック結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>「概ねできている」 以上の回答割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>93.9 %</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>92.2 %</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>84.7 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>※設問毎の平均割合</p>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	医療福祉相談	2,038 件	1,649 件	2,654 件	項目	「概ねできている」 以上の回答割合	態度・表情等	93.9 %	身だしなみ	92.2 %	電話対応	84.7 %			
項目	25 年度	26 年度	27 年度																			
医療福祉相談	2,038 件	1,649 件	2,654 件																			
項目	「概ねできている」 以上の回答割合																					
態度・表情等	93.9 %																					
身だしなみ	92.2 %																					
電話対応	84.7 %																					
	4 患者中心の医療の提供		<p>4 患者中心の医療の提供 ○カルテ等の医療情報開示は、岐阜県情報公開条例及び岐阜県個人情報保護条例に準じ対応した。</p>																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																								
	5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進		<p>カルテ開示請求件数・開示件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>4 件</td> <td>5 件</td> <td>10 件</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>4 件</td> <td>5 件</td> <td>10 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ピンクリボンキャンペーン（乳がん検診の早期受診推進運動）への賛同 マンモグラフィー（乳房X線診断装置）乳がん無料検診を実施（H27/10/18(日)）。平成 23 年度から経費の一部は寄付金を活用しており、検査料は無料(定員 30 名)とし、27 年度は 29 名が受診した。</p> <p>5 インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進 患者・その家族には、インフォームドコンセントの徹底を図り、規程に基づく同意を得たうえで治療に取り組んだ。 ・入院時の入院治療計画の提示 ・手術や検査の事前説明</p> <p>セカンドオピニオン実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>0 件</td> <td>3 件</td> <td>3 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※セカンドオピニオン外来は標榜しておらず、一般外来として受け入れ。</p>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	請求件数	4 件	5 件	10 件	開示件数	4 件	5 件	10 件	項目	25 年度	26 年度	27 年度	外来受入	—	—	—	他院紹介	0 件	3 件	3 件			
項目	25 年度	26 年度	27 年度																											
請求件数	4 件	5 件	10 件																											
開示件数	4 件	5 件	10 件																											
項目	25 年度	26 年度	27 年度																											
外来受入	—	—	—																											
他院紹介	0 件	3 件	3 件																											
	6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映		<p>6 患者や周辺住民からの病院運営に関する意見の反映 ○患者満足度調査 退院時アンケート調査を 1 回実施 （11 月：1 ヶ月間） 対象患者：退院 188 名、回答者 128 名（回収率 68%） ・職員の態度・治療に対する説明など計 5 項目</p>																											



項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			<p>「良い」以上の評価割合 職員の態度：91.4% 身だしなみ：96.9% 傾聴：94.5% プライバシー配慮：88.3% 説明：89.1%</p> <p>○地域住民との交流 ・「看護の日」等を活用し、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック・健康相談を行い地域の人々との交流に努めた。 27年度 2回実施(利用者 234名) ・下呂温泉祭り行事協力 「龍神火祭り」8/1-3 「花火」「いで湯卓球大会」等救護班8名 「龍神火祭り」では病院職員が御輿の担ぎ手としても参加し、地域の方々と病院職員の交流に努めた。</p> <p>○院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。 ・御礼・感謝8件、苦情14件、要望18件、その他1件 計41件</p>			
03	<p>※ 診療体制の充実 1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p>		<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実 ・病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな診療対応を行った。 ・救急外来での外国人患者のため、通訳用タブレットを準備し、円滑な診療体制を構築した。 ・疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、午後7時以降の夜間透析や小児リハビリテーション、手外科リハビリテーションに取り組んだ。 (患者数) 夜間透析 2名 小児リハビリテーション 33名</p>	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																					
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																					
	2 多様な専門職の積極的な活用		<p>手外科リハビリテーション 25名</p> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総合健診センター事務長について、病院事務局長経験者を採用し、総合健診センター部の組織体制の充実を図った。</li> <li>定年退職を迎えた看護師のうち4名について、引き続き非常勤専門職として雇用了。</li> </ul>																							
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p>	<p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <p>○「東濃地域脳卒中地域連携パス」及び「飛騨地域がん地域連携クリニカルパス」を活用し、参画病院との連携を密に該当する患者に対して、継続性ある医療の提供に努めた。</p> <p>当院は計画管理病院の転院先となる回復リハビリテーション病</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の向上</p> <p>近隣の医療機関との連携の強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と当院の役割分担に努めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>33.3%</td> <td>36.2%</td> <td>34.4%</td> </tr> <tr> <td>紹介実施件数</td> <td>2,335 件</td> <td>2,404 件</td> <td>2,336 件</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>36.2%</td> <td>36.1%</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介実施件数</td> <td>3,880 件</td> <td>3,726 件</td> <td>3,881 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 歯科を除く。</p> <p>○下呂市立金山病院との連携</p> <p>情報交換を行うなど連携の確保に努め、金山病院看護師の研修に当院が協力することになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>金山病院新人看護師1名 下呂温泉病院での研修参加5日間 (H27.4 22時間)</li> </ul>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	紹介率	33.3%	36.2%	34.4%	紹介実施件数	2,335 件	2,404 件	2,336 件	逆紹介率	36.2%	36.1%	37.9%	逆紹介実施件数	3,880 件	3,726 件	3,881 件	III		
項目	25 年度	26 年度	27 年度																							
紹介率	33.3%	36.2%	34.4%																							
紹介実施件数	2,335 件	2,404 件	2,336 件																							
逆紹介率	36.2%	36.1%	37.9%																							
逆紹介実施件数	3,880 件	3,726 件	3,881 件																							

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
		<p>院のうちの一つになっているが、患者の選択に際し、地理的な問題もあり、平成 27 年度の運用実績は 1 件であった。(次年度に引き続いている症例を除く)。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>連携パス名</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東濃地域脳卒中地域連携パス</td> <td>3 件</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>飛騨地域がん地域連携クリニカルパス</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○CKD 予防に取り組む連携パスの普及促進 27 年度は、CKD 患者の診察受け入れから透析導入までを繋ぐことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CKD での受診患者は、調査した 9 ヶ月間で延べ 663 名。</li> <li>・内科外来で、CKDかつ eGFR30 以下の患者をリストアップ。</li> <li>・27 年度における eGFR30 以下の受診患者数 105 名、延べ患者数 376 名の診察を実施。</li> <li>・eGFR20 未満の患者には生活状況の把握や指導等の介入を行った。(介入件数 182 件)</li> <li>・安全に透析へ移行できるよう、透析室の見学、透析室看護師との面談を実施するなど透析準備教育に取り組み、9 月から 4 名程度紹介できた。</li> <li>・地域の開業医師からの紹介件数 145 件</li> <li>・下呂市保健師と協力し、「下呂地域 CKD 手帳」を監修し、連携パスの運用を平成 28 年度から開始することになった。</li> </ul>	連携パス名	25 年度	26 年度	27 年度	東濃地域脳卒中地域連携パス	3 件	2 件	1 件	飛騨地域がん地域連携クリニカルパス	0 件	0 件	0 件			
連携パス名	25 年度	26 年度	27 年度														
東濃地域脳卒中地域連携パス	3 件	2 件	1 件														
飛騨地域がん地域連携クリニカルパス	0 件	0 件	0 件														
	3 救急医療コミュニティシステム等の活用		3 救急医療コミュニティシステム等の活用 患者情報を記録でき、他の医療機関等で記録情報を閲覧することで患者情報の共有化が可能となる IC カード型診察券の導入を検討した。														
	4 地域の介護・福祉機関との連携の強化		4 地域の介護・福祉機関との連携の強化 ○ケア会議の実施 在宅復帰に向けて、リハビリ技師・医師・ケアマネ・訪問看護師・施設担当者・退院調整Ns・担当Nsが、本人・家														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証									
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項									
			<p>族の思いを尊重しながらケア会議を開催することに重点を置いて取り組んだ。今後は退院後の生活が問題なく過ごせるよう、退院前訪問や退院後の訪問を訪問看護ステーションと共に行っていくよう取り組む。</p> <p>会議等実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケア会議</td> <td>104 件</td> <td>110 件</td> <td>152 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○下呂地区連携会議 旧下呂町地区の福祉施設や包括支援センター担当者が参加する下呂地区連携会議へ出席し、在宅療養支援に関する情報共有や事例研究を行った。 毎月 1 回 (年 12 回)</p>	会議名	25 年度	26 年度	27 年度	ケア会議	104 件	110 件	152 件			
会議名	25 年度	26 年度	27 年度											
ケア会議	104 件	110 件	152 件											
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <p>2 専門的なリハビリテーション治療の実施</p>	<p>2 専門的なリハビリテーション治療の実施</p> <p>平成 26 年度以降、休日を含めて週 7 日間リハビリテーションが提供できる体制を整備したことにより、入院当初から集中的なリハビリテーションを継続して受けられるようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸認定療法士を新たに 2 名養成し、計 3 名とすることにより、急性期リハビリテーションの充実を図った。</li> <li>「早期離床アドバイザー」の取得を目指し、1 名が早期離床講習会を受講。</li> <li>「福祉住環境コーディネーター」2 級以上のライセンスを平成 27 年度中に 3 名が取得し、退院後の生活を見据えた住環境整備の指導に当たった。</li> <li>疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリの実施</li> </ul> <p>(患者数) 手外科リハビリテーション 25 名 小児リハビリテーション 33 名 : 再掲(項目 03)</p>	<p>1 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <p>飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。</p>	IV										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																											
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																										
3	急性期医療の推進	リハビリテーションの実施状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>26,036 人</td> <td>25,392 人</td> <td>30,141 人</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>72,444 単位</td> <td>72,249 単位</td> <td>87,403 単位</td> </tr> </tbody> </table>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	実人数	26,036 人	25,392 人	30,141 人	疾患別リハ実施数	72,444 単位	72,249 単位	87,403 単位	3 急性期医療の推進 急性期医療の強化として、岐阜大学附属病院高次救命治療センターから医師の派遣を受け、地域県民が必要とする急性期医療の確保に寄与した。 ○招へい状況 ・毎月1回、延べ12日  救急患者受診者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,894 名</td> <td>5,388 名</td> <td>5,011 名</td> </tr> </tbody> </table> 救急車受入台数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入件数</td> <td>1,134</td> <td>1,235</td> <td>1,077</td> </tr> <tr> <td>一日平均台数</td> <td>3.11</td> <td>3.38</td> <td>2.94</td> </tr> </tbody> </table> 転院搬送件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>手 段</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>D r へり</td> <td>25 件</td> <td>43 件</td> <td>26 件</td> </tr> <tr> <td>救急車</td> <td>49 件</td> <td>57 件</td> <td>50 件</td> </tr> </tbody> </table>	25 年度	26 年度	27 年度	5,894 名	5,388 名	5,011 名	区 分	25 年度	26 年度	27 年度	受入件数	1,134	1,235	1,077	一日平均台数	3.11	3.38	2.94	手 段	25 年度	26 年度	27 年度	D r へり	25 件	43 件	26 件	救急車	49 件	57 件	50 件			
項目	25 年度	26 年度	27 年度																																													
実人数	26,036 人	25,392 人	30,141 人																																													
疾患別リハ実施数	72,444 単位	72,249 単位	87,403 単位																																													
25 年度	26 年度	27 年度																																														
5,894 名	5,388 名	5,011 名																																														
区 分	25 年度	26 年度	27 年度																																													
受入件数	1,134	1,235	1,077																																													
一日平均台数	3.11	3.38	2.94																																													
手 段	25 年度	26 年度	27 年度																																													
D r へり	25 件	43 件	26 件																																													
救急車	49 件	57 件	50 件																																													
4	予防医療の推進	4 予防医療の推進 平成26年度以後、旧下呂町（6地区）の住民健診を当院で実施することにより、健康診断率の向上と予防医療の推進を図った。 その結果、26年度よりも約400人受診者が増加し、収益面での増収を図ることができた。また勤労者のために、「日曜健診」を3																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																								
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																							
		<p>回実施し、72名の受診者を受け入れた。また平成28年1月より協会けんぽの特定保健指導に取り組み、健康維持・増進・疾病予防への働きかけを行った。</p> <p>胸部・腹部・大腸CT検査や全身MRI検査などのオプション検査件数も順調に伸びており、がん等の早期発見に貢献することができた。</p> <p>総合健診センター部 受診者数(単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1日ドック</td> <td>1,038</td> <td>1,103</td> <td>1,053</td> </tr> <tr> <td>1日+MRI</td> <td>69</td> <td>66</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>脳ドック</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病予防健診</td> <td>1,288</td> <td>1,384</td> <td>1,450</td> </tr> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>362</td> <td>1,107</td> <td>1,161</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>217</td> <td>654</td> <td>668</td> </tr> <tr> <td>定期健診(下呂病院、下呂看護)</td> <td>402</td> <td>470</td> <td>449</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>44</td> <td>80</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>その他(企業健診他)</td> <td>82</td> <td>180</td> <td>536</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,514</td> <td>5,053</td> <td>5,473</td> </tr> </tbody> </table> <p>脳MRI、胸部CT、腹部CT等 がん検査受診者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳MRI</td> <td>132</td> <td>105</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>104</td> <td>83</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>腹部CT</td> <td>82</td> <td>64</td> <td>119</td> </tr> <tr> <td>全身MRI・CT</td> <td>—</td> <td>44</td> <td>66</td> </tr> <tr> <td>大腸CT</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>319</td> <td>300</td> <td>446</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	1日ドック	1,038	1,103	1,053	1日+MRI	69	66	88	脳ドック	12	9	3	生活習慣病予防健診	1,288	1,384	1,450	下呂市がん検診	362	1,107	1,161	下呂市特定・すこやか健診	217	654	668	定期健診(下呂病院、下呂看護)	402	470	449	下呂市肝炎ウイルス検査	44	80	65	その他(企業健診他)	82	180	536	合計	3,514	5,053	5,473	項目	25年度	26年度	27年度	脳MRI	132	105	125	胸部CT	104	83	134	腹部CT	82	64	119	全身MRI・CT	—	44	66	大腸CT	1	4	2	計	319	300	446			
	25年度	26年度	27年度																																																																										
1日ドック	1,038	1,103	1,053																																																																										
1日+MRI	69	66	88																																																																										
脳ドック	12	9	3																																																																										
生活習慣病予防健診	1,288	1,384	1,450																																																																										
下呂市がん検診	362	1,107	1,161																																																																										
下呂市特定・すこやか健診	217	654	668																																																																										
定期健診(下呂病院、下呂看護)	402	470	449																																																																										
下呂市肝炎ウイルス検査	44	80	65																																																																										
その他(企業健診他)	82	180	536																																																																										
合計	3,514	5,053	5,473																																																																										
項目	25年度	26年度	27年度																																																																										
脳MRI	132	105	125																																																																										
胸部CT	104	83	134																																																																										
腹部CT	82	64	119																																																																										
全身MRI・CT	—	44	66																																																																										
大腸CT	1	4	2																																																																										
計	319	300	446																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
5	在宅療養支援体制の構築及び推進	<p>○下呂地域脳機能低下予防研究会 下呂地域における「早期認知症予防システムの構築」を目指し、下呂市（地域包括センター）及び下呂市医師会及び薬剤師会と連携し、「認知症早期発見のための下呂式簡易知能検査」や「予防リハビリ」について検討を進めるとともに、地域シニアクラブの協力を得て、実際に試行することにより、その手法と有効性について検証を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>認知機能低下予防リハビリ研修（集団指導） H28/1/15, 26 延べ参加者 41 名（参加クラブ数 1）</li> <li>予防リハビリ指導（院内個別指導） 症例数 4、延べ 23 回</li> </ul> <p>5 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>○地域包括ケア病棟の増床 病床機能の役割分担化として、平成 28 年 3 月から地域包括ケア病棟を増床し、2 病棟 76 床として運用、これにより当院では 3 つの病棟機能（急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期病棟）により、在宅療養支援体制を構築した。</p> <p>増床した地域包括ケア病棟の効率的な病棟運営を行うため、毎週 1 回を目途に、地域包括ケア病棟判定会議を開催し、地域包括ケア病棟への転棟時期を決定すると同時に早期在宅復帰支援を推進した。</p> <p>○継続看護連絡会議 既存の退院支援プログラムの見直し、外来通院中からの継続的な支援方法等について検討を行った。</p> <p>会議の実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>会議名</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域包括ケア判定会議</td> <td>-</td> <td>41 回</td> <td>78 回</td> </tr> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>128 回</td> <td>68 回</td> <td>75 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>○介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導 当院の皮膚・排出ケア認定看護師による褥瘡相談（指導）体制を</p>	会議名	25 年度	26 年度	27 年度	地域包括ケア判定会議	-	41 回	78 回	継続看護連絡会議	128 回	68 回	75 回			
会議名	25 年度	26 年度	27 年度														
地域包括ケア判定会議	-	41 回	78 回														
継続看護連絡会議	128 回	68 回	75 回														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
		<p>確立すると同時に、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。 ※関係施設職員褥瘡ケア指導 18回</p> <p>○在宅療養ハンドブック 外来部門では、26年度に作成した「在宅療養ハンドブック」を基に、患者情報を共有するとともに、継続看護が必要な患者に対し、生活指導を行うなど有効に活用することができた。</p>				



中期 目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 高度・先進医療の各分野において、疫学調査や診断技法・治療法の開発、臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び飛騨地域の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステムを中心とする医療総合情報システムをより有効に活用し、診療等で得た情報を医療の質の向上に活用するとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証													
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 調査及び臨床研究等の推進</p>		<p>1 調査及び臨床研究等の推進 薬剤部・事務局（契約締結、収入・研究予算管理）で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより受託件数の増加を促している。</p> <p>受託実績 ※契約数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受託内容</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用成績調査</td> <td>2 件</td> <td>1 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>特定使用成績調査</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> <td>0 件</td> </tr> </tbody> </table>	受託内容	25 年度	26 年度	27 年度	使用成績調査	2 件	1 件	1 件	特定使用成績調査	0 件	0 件	0 件	III		
受託内容	25 年度	26 年度	27 年度															
使用成績調査	2 件	1 件	1 件															
特定使用成績調査	0 件	0 件	0 件															
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 医療総合情報システムに蓄積された各種医療データの有効活用 医療総合情報システムに蓄積されたデータを利用して、診療委員会における報告書や、診療実績、収支状況等の経営概要一覧を作成し、それらを毎月行う管理会議で職員に資料提示して病院の実状を周知させ、経営改善に向けてよりよい医療体制づくりに努めた。 また診療情報管理士1名を採用し、各部署からの照会に対し、DPCに関わるデータから資料を作成して提供した。</p> <p>2 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用 各々の症例に関して、カンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い、成績の向上に努めた。 また臨床研究である、岐阜県の高血圧症患者の食塩摂取量、</p>	III														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証											
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
			<p>治療薬と脳・腎・心血管イベント予後との関係調査「NOBUNAGA 研究」へ参加するなど、各研究機関等が運営している医療情報データベースに参加し、症例の登録を行うとともに、データの活用と分析を進めている。</p> <p>医療情報データベース等への症例登録状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>H27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NOBUNAGA登録</td> <td>232 例</td> </tr> <tr> <td>NCD (外科)</td> <td>83 例</td> </tr> <tr> <td>NCD (脳外科)</td> <td>52 例</td> </tr> <tr> <td>地域がん登録</td> <td>36 例</td> </tr> </tbody> </table> <p>年報 39 号を発刊し、業績・経営概要・論文等期間を年度でまとめることとし、実績の評価及び、より精度の高い比較分析ができるよう見直しを実施した。また、前号より病院HPにも掲載し、その内容を公表した。</p> <p>クリニカルインディケーターについては、可能なところから順次公表するよう検討していく。</p>	種類	H27	NOBUNAGA登録	232 例	NCD (外科)	83 例	NCD (脳外科)	52 例	地域がん登録	36 例			
種類	H27															
NOBUNAGA登録	232 例															
NCD (外科)	83 例															
NCD (脳外科)	52 例															
地域がん登録	36 例															

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れなど、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 研修医等の研修施設として認められた病院(臨床研修病院)として、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の積極的な受入れを行うこと。 岐阜大学医学部附属病院、岐阜県が設立した他の地方独立行政法人などの臨床研修病院との連携や、法人の有する人的・物的資源を生かした独自の臨床研修プログラムの開発など、質の高い医療従事者の養成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 地域医療を目指す医師の養成</p>		<p>1 地域医療を目指す医師の養成 協力型の臨床研修病院として岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センターから地域医療研修を行う臨床研修医の受入れを行うとともに、基幹型の臨床研修病院として、計2名の臨床研修医について、研修を行った。平成27年度は3月から1名の臨床研修医を受け入れた。 【研修の状況】 ・1年次研修医 1名(3月採用) 実施した研修科： 内科1ヶ月 ・2年次研修医 1名 実施した研修科： 内科5ヶ月、産婦人科1ヶ月、皮膚科1ヶ月、 外科2ヶ月、精神科2ヶ月(南ひだせせらぎ病院)、 地域医療1ヶ月(東白川村、小坂の各診療所)</p> <p>2 臨床研修医の県内定着化の促進 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドとし、地域医療を担う医師の養成を実施。 見学を希望する医学生7名に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。 平成24年度に常勤職員として採用した初期臨床研修医1名については、当院の脳神経外科医として引き続き勤務して</p>	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																									
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																									
	2 臨床研修医の県内定着化の促進		<p>いる。また平成 25 年度に採用した臨床研修医 2 名のうち 1 名、平成 26 年度研修医 1 名が、現在岐阜県内の病院に勤務しており、研修医の県内定着化につながった。</p> <p>初期臨床研修医数 (各年 3.31 時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>24 年度</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医数</td> <td>3 名</td> <td>4 名</td> <td>3 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>うち当該年度の新規採用数</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>		24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	研修医数	3 名	4 名	3 名	2 名	うち当該年度の新規採用数	2 名	2 名	1 名	1 名	上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者	1 名	1 名	1 名	-																																							
	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度																																																										
研修医数	3 名	4 名	3 名	2 名																																																										
うち当該年度の新規採用数	2 名	2 名	1 名	1 名																																																										
上記採用者のうち現在の勤務地が岐阜県内である者	1 名	1 名	1 名	-																																																										
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p>		<p>1 医学生、看護学生やコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>○医学生の実習受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>4 名</td> <td>4 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護学生の実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>73 名</td> <td>87 名</td> <td>90 名</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> <td>2 名</td> <td>3 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>78 名</td> <td>94 名</td> <td>98 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○コメディカル等の実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>9 名</td> <td>7 名</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td></td> <td></td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	医学生	4 名	4 名	0 名	学校名	25 年度	26 年度	27 年度	下呂看護専門学校	73 名	87 名	90 名	岐阜県立看護大学	5 名	5 名	5 名	その他		2 名	3 名	計	78 名	94 名	98 名	職種	25 年度	26 年度	27 年度	理学療法士	9 名	7 名	9 名	作業療法士				言語聴覚士			1 名	薬剤師				管理栄養士				社会福祉士				III		
項目	25 年度	26 年度	27 年度																																																											
医学生	4 名	4 名	0 名																																																											
学校名	25 年度	26 年度	27 年度																																																											
下呂看護専門学校	73 名	87 名	90 名																																																											
岐阜県立看護大学	5 名	5 名	5 名																																																											
その他		2 名	3 名																																																											
計	78 名	94 名	98 名																																																											
職種	25 年度	26 年度	27 年度																																																											
理学療法士	9 名	7 名	9 名																																																											
作業療法士																																																														
言語聴覚士			1 名																																																											
薬剤師																																																														
管理栄養士																																																														
社会福祉士																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																															
			<table border="1"> <tr> <td>計</td> <td>9 名</td> <td>7 名</td> <td>10 名</td> </tr> </table> <p>○下呂看護専門学校への講師派遣</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師、歯科医師</td> <td>11 名</td> <td>11 名</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>10 名</td> <td>10 名</td> <td>9 名</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>7 名</td> <td>6 名</td> <td>5 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28 名</td> <td>27 名</td> <td>23 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>○下呂市消防本部の救急救命士の病院実習受入れ実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実習項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>就業前教育実習</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>20 名</td> <td>22 名</td> <td>23 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>2 名</td> <td>- 名</td> <td>- 名</td> </tr> <tr> <td>消防学校病院実習</td> <td>2 名</td> <td>5 名</td> <td>1 名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26 名</td> <td>29 名</td> <td>26 名</td> </tr> </tbody> </table>	計	9 名	7 名	10 名	職種	25 年度	26 年度	27 年度	医師、歯科医師	11 名	11 名	9 名	看護師	10 名	10 名	9 名	コメディカル	7 名	6 名	5 名	計	28 名	27 名	23 名	実習項目	25 年度	26 年度	27 年度	就業前教育実習	2 名	2 名	2 名	再教育実習	20 名	22 名	23 名	薬剤投与実習	2 名	- 名	- 名	消防学校病院実習	2 名	5 名	1 名	計	26 名	29 名	26 名		
計	9 名	7 名	10 名																																																		
職種	25 年度	26 年度	27 年度																																																		
医師、歯科医師	11 名	11 名	9 名																																																		
看護師	10 名	10 名	9 名																																																		
コメディカル	7 名	6 名	5 名																																																		
計	28 名	27 名	23 名																																																		
実習項目	25 年度	26 年度	27 年度																																																		
就業前教育実習	2 名	2 名	2 名																																																		
再教育実習	20 名	22 名	23 名																																																		
薬剤投与実習	2 名	- 名	- 名																																																		
消防学校病院実習	2 名	5 名	1 名																																																		
計	26 名	29 名	26 名																																																		

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図り、高度先進医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、地域基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援を積極的に行うこと。 岐阜大学医学部及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療学の研究と地域医療に携わる医師の養成を図ること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報を、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	---

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p>		<p>1 地域医療水準の向上 地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において座長・演者を努めるなどしている。 また、二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。</p> <p>○当院医療機器の地域開業医等の利用状況</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>医療機器</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MR I</td> <td>186 件</td> <td>144 件</td> <td>133 件</td> </tr> <tr> <td>C T</td> <td>16 件</td> <td>15 件</td> <td>20 件</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>202 件</td> <td>159 件</td> <td>153 件</td> </tr> </tbody> </table> <p>○開放型病床の導入 医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成24年度から開放型病床5床を運用しており、患者に対し安心した療養環境の提供が図られている。</p>	医療機器	25 年度	26 年度	27 年度	MR I	186 件	144 件	133 件	C T	16 件	15 件	20 件	計	202 件	159 件	153 件	III		
医療機器	25 年度	26 年度	27 年度																			
MR I	186 件	144 件	133 件																			
C T	16 件	15 件	20 件																			
計	202 件	159 件	153 件																			

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																			
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																			
	2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援		<p>開放型病床利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数 (実人数)</td> <td>21 名</td> <td>38 名</td> <td>36 名</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>346 名・日</td> <td>648 名・日</td> <td>732 名・日</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 医師不足地域の医療機関やへき地医療機関への診療支援 ○へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東白川村国保 診療所</td> <td>外科</td> <td>延 12 日</td> <td>延 12 日</td> <td>延 12 日</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>延 12 日</td> <td>延 12 日</td> <td>延 0 日</td> </tr> <tr> <td>東白川村母子 健康センター</td> <td>産婦 人科</td> <td>延 22 日</td> <td>延 12 日</td> <td>延 22 日</td> </tr> <tr> <td>高山市国保 久々野診療所</td> <td>内科</td> <td>延 21 日</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高山市国保朝 日診療所</td> <td>内科</td> <td>延 20 日</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>高山市国保高 根診療所</td> <td>内科</td> <td>延 45 日</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>延 132 日</td> <td>延 36 日</td> <td>延 34 日</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 へき地医療拠点病院としての地域医療支援 総合健診センター部において、平成 22 年度より下呂市がん検診、特定健診、すこやか健診を実施している。 平成 26 年度より、更に体制を整え下呂市との連携を密にして、地域別健診日を設定し、全ての住民健診を実施可能にする とともに、地域住民の受診率向上を目指した。</p>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	利用者数 (実人数)	21 名	38 名	36 名	利用延べ人数	346 名・日	648 名・日	732 名・日	出向先	診療科	25 年度	26 年度	27 年度	東白川村国保 診療所	外科	延 12 日	延 12 日	延 12 日	整形外科	延 12 日	延 12 日	延 0 日	東白川村母子 健康センター	産婦 人科	延 22 日	延 12 日	延 22 日	高山市国保 久々野診療所	内科	延 21 日	—	—	高山市国保朝 日診療所	内科	延 20 日	—	—	高山市国保高 根診療所	内科	延 45 日	—	—	合計		延 132 日	延 36 日	延 34 日		
項目	25 年度	26 年度	27 年度																																																					
利用者数 (実人数)	21 名	38 名	36 名																																																					
利用延べ人数	346 名・日	648 名・日	732 名・日																																																					
出向先	診療科	25 年度	26 年度	27 年度																																																				
東白川村国保 診療所	外科	延 12 日	延 12 日	延 12 日																																																				
	整形外科	延 12 日	延 12 日	延 0 日																																																				
東白川村母子 健康センター	産婦 人科	延 22 日	延 12 日	延 22 日																																																				
高山市国保 久々野診療所	内科	延 21 日	—	—																																																				
高山市国保朝 日診療所	内科	延 20 日	—	—																																																				
高山市国保高 根診療所	内科	延 45 日	—	—																																																				
合計		延 132 日	延 36 日	延 34 日																																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	H27年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																	
			<p>○下呂市がん検診の受診状況:再掲(項目05)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>362名</td> <td>1,107名</td> <td>1,161名</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定すこやか健診</td> <td>217名</td> <td>654名</td> <td>668名</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>44名</td> <td>80名</td> <td>65名</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	25年度	26年度	27年度	下呂市がん検診	362名	1,107名	1,161名	下呂市特定すこやか健診	217名	654名	668名	下呂市肝炎ウイルス検査	44名	80名	65名			
種 類	25年度	26年度	27年度																			
下呂市がん検診	362名	1,107名	1,161名																			
下呂市特定すこやか健診	217名	654名	668名																			
下呂市肝炎ウイルス検査	44名	80名	65名																			
11	※ 社会的な要請への協力		<p>下呂市が実施する「障害児療育支援事業」に対し、当院の専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的要請の協力を行った。</p> <p>H25年度 年9回派遣 H26年度 年10回派遣 H27年度 年10回派遣</p>	III																		
12	<p>※ 保健医療情報の提供・発信</p> <p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p>		<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>○公開講座等の実施状況</p> <p>また県看護協会主催の「まちの保健室」等にも主体的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティエクササイズ 妊娠中の運動、エクササイズ等(計10回 延べ20人)</li> <li>・ベビーピクス ベビーマッサージ、エクササイズ等(計13回 延べ83人)</li> <li>・分娩準備クラス お産の仕組み、入院方法、呼吸法等(計11回 延べ79人)</li> <li>・益田清風高校文化祭への出展「命をありがとう」 妊婦体験、産道体験、赤ちゃんを抱く体験など</li> <li>・「命のふれあい講座」(受講:中学生284名) 下呂市内の全中学校でへ助産師を派遣し、妊婦体験など</li> <li>・摂食えん下障害看護学習会 摂食・嚥下障害の基本的事項・口腔ケア・訓練など2時間 院外参加者41名(Ns12名、介護職18名、その他11名) 院内参加者18名</li> </ul>	III																		



項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
	2 保健医療、健康管理等の情報提供		<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡対策研修会出前講座 褥瘡の基礎、リスクアセスメント等 (9 施設、延べ 18 回、延べ 570 名受講)</li> <li>・褥瘡対策研修会市民講座 4 会場、延べ 4 回、延べ 62 名受講</li> <li>・感染対策研修会出前講座 (4 回延べ 120 名) 耐性菌とマイコプラズマ(40 名) ノロウイルスとインフルエンザ(25 名) 冬の感染症と疥癬(40 名) 病院感染症対策(15 名)</li> </ul> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>○病院広報誌の発行 「健康と医療」を 6 月と 12 月に各 3, 0 0 0 部を発行。圏域の開業医・自治会・福祉関係施設など 52 の関係者や団体に配布。診療科の紹介や地域包括ケア病棟等の情報提供を行った。</p> <p>○地域医師会等主催講演会への参加 地域医師会等主催の学術講演会に当院医師・看護師が講師、座長として参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。</p> <p>講師等で参加した回数・人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>15 回</td> <td>14 回</td> <td>8 回</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>30 名</td> <td>14 名</td> <td>18 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○看護学生インターンシップ 1 回/年 参加者 2 名</p> <p>○国際助産師の日イベント 14 名参加 ベビーピクス、母乳育児相談の実施</p> <p>○ふれあい看護体験 2 回/年</p>		25 年度	26 年度	27 年度	回数	15 回	14 回	8 回	人数	30 名	14 名	18 名		
	25 年度	26 年度	27 年度														
回数	15 回	14 回	8 回														
人数	30 名	14 名	18 名														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
			中高生を対象とした医療従事者の業務体験 中学生対象 17名参加 高校生対象 20名参加			

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣など医療救護を行うことを求める。 ※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは飛騨地域の医療救護活動の拠点機能を担うこと。
	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画の作成及び訓練等を実施すること。 ※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等(新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。)発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実        2 原子力災害時における医療従事者派遣要請への対応		<p>1 医療救護活動の拠点機能の充実 災害発生時には「岐阜県立下呂温泉病院災害対策マニュアル」により、不測の事態に対応できるよう体制を構築している。 また、下呂市消防本部と協力して防災訓練を実施し、消火活動や避難誘導等における各事項を検証した。 【防災訓練】 第1回訓練 H27. 4.1 参加者約30名 第2回訓練 H27.11.27 参加者約30名 病棟訓練 H27.11~12 参加者約30名</p> <p>平成26年5月に開院した新病院は、屋上ヘリポートや免震構造を備えているので、災害時の医療救護活動拠点として、更なる災害対応機能の充実に向け、体制整備等の検討を行った。</p> <p>2 原子力災害時における医療従事者派遣要請への対応 新病院移転に併せ、サーベイメータ(放射線測定器)を整備し、放射線身体汚染検査によるスクリーニングを行える体制を整えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GM管式サーベイメータ整備(身体汚染検査対応)</li> <li>・「放射線被ばく相談員」認定講習参加 1名</li> </ul>	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
14	<p>※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の確立</p> <p>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備</p> <p>2 診療情報のバックアップシステムの構築</p>		<p>1 診療継続計画の作成及び訓練等による体制の整備 院内に、業務継続計画 (BCP) に係る策定部会を設置し、各構成員がセミナーへ参加し、策定作業に係る理解を深めた。 セミナー参加者数：15名×2日 (延べ30日)</p> <p>2 診療情報のバックアップシステムの構築 大規模災害時におけるデータ損失のリスクに対応するため、当院の電子カルテのバックアップを岐阜県立多治見病院に設置した。また、岐阜県総合医療センター及び岐阜県立多治見病院の電子カルテバックアップサーバを当院に設置した。</p>	III		
15	<p>※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮</p> <p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施</p>		<p>1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 平成 26 年度に策定した診療継続計画に基づき、必要な物資・資材を確保するとともに、施設・設備の点検を行った。</p> <p>2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 県が実施した新型インフルエンザ等対策訓練に参加し、連絡体制の確認を行った。 ・日時 平成 27 年 11 月 27 日</p>	III		

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

中期目標	2-1 効率的な業務運営体制の確立	自律性・機動性・効率性の高い病院運営を行うための業務運営体制を確立するとともに、地方独立行政法人制度の特徴を最大限に生かし、業務運営の改善及び効率化に努めることを求める。
	※ 効果的な組織体制の確立	医療を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応するため、組織・業務体制の改善及び充実を図ること。 ITの活用とアウトソーシングを適切に進めるとともに、経営企画機能を強化し、経営効率の高い業務執行体制を確立すること。 危機管理事案等発生時における情報共有体制を確立すること。
	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用	医療需要の変化に迅速に対応するため、診療科の変更や医師、看護師等の配置の弾力的運用を行うこと。 常勤以外の雇用形態も含めた多様な専門職の活用による、効果的な医療の提供に努めること。
	※ 人事評価システムの構築	職員のモチベーション向上のため、知識、能力、経験、勤務実績等を反映させた新たな公平で客観的な人事評価制度の構築を図ること。
	※ 事務部門の専門性の向上	事務部門において、病院特有の事務に精通した法人の職員を計画的に確保し、及び育成することにより、事務部門の専門性を向上すること。
	※ コンプライアンス(法令や倫理の遵守)の徹底	職員一人ひとりが誠実かつ公正に職務を遂行するため、業務執行におけるコンプライアンスを徹底し、適正な病院運営を行うこと。
	※ 適切な情報管理	業務の情報化に対応して、情報セキュリティ対策に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
16	※ 効果的な組織体制の確立 1 効率的かつ効果的な組織体制の充実  2 各種業務のIT化の推進  3 アウトソーシング導入による合理化		1 効率的かつ効果的な組織体制の充実 引き続き経営企画部門を中心に病院の経営分析・改善等に努め、医師確保・病院経営改善等に取り組んだ。  2 各種業務のIT化の推進 人事給与システム・旅費システム等を活用し、事務の合理化を進めた。  3 アウトソーシング導入による合理化 アウトソーシングの導入可能な定期的な業務の検討したほか、外部に委託した全ての委託事業について見直しを行った。  業務委託件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>25年度</td> <td>26年度</td> <td>27年度</td> </tr> <tr> <td>68件</td> <td>74件</td> <td>72件</td> </tr> </table>	25年度	26年度	27年度	68件	74件	72件	III		
25年度	26年度	27年度										
68件	74件	72件										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項	
	<p>4 経営効率の高い業務執行体制の充実</p> <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立</p>		<p>4 経営効率の高い業務執行体制の充実 毎月最終木曜日開催の管理会議に職員の代表者2名がオブザーバーとして参加。必要に応じ行われる労使間の協議会や意見交換会で交わされた業務や経営に関する意見や提案などを病院運営に反映させ、風通しの良い職場づくりに努めた。 【労使協議会回数】13回</p> <p>定年となった職員について、本人の勤務評価・能力等を考慮した上で、病院経営に寄与すると認められる職員(看護師4名)を非常勤専門職として引き続き雇用した。</p> <p>月次決算状況を理事長に提出する際、月次のキャッシュフローを添付し、資金の流れや資金量を常に注視する体制に努めた。</p> <p><b>H28.3</b> 労働組合と労働協約を締結した。その協約中にユニオンショップ協定を盛り込むことにより、組織率を高め、労使が一体となった職場環境の改善を図っていくこととなった。</p> <p>5 危機管理事案等発生時における情報共有体制の確立 毎朝行う幹部会において、危機管理事案の報告と併せて対策を講じるとともに、管理会議において情報共有を行った。</p>			
17	<p>※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用</p> <p>1 弾力的運用の実施</p>		<p>1 弾力的運用の実施 ○柔軟な勤務配置 看護部では、状況に応じてタイムリーな支援体制を構築するよう入退院患者数や看護必要度の把握と支援状況の周知を行っている。 支援を受ける側は支援業務を明確にし、業務が煩雑なところを支援することが定着し、引越業務が支援時間の多くを占めた平成26年度並の支援時間数となった。 業務量の多い時間帯に人員配置ができるよう病院規程中の</p>	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証						
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項						
2	効果的な体制による医療の提供	<p>2 効果的な体制による医療の提供</p> <p><b>【多様な勤務形態の非常勤職員の活用】</b></p> <p>○看護部では看護協会WLB（仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取り組み）の推進を受けて働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。看護必要度の高い時間帯に人員が配置できるように遅出・早出時間の検討を行い、週 30 時間・週 35 時間勤務の非常勤職員も休日を含めた早出・遅出勤務を行うことで効率的な7：1看護体制の維持に取り組んだ。</p> <p>またこれらの取組により、H28.5に日本看護協会から「看護職のWLB 推進カンゴサウルス賞」を受賞した。</p> <p>○医師事務作業補助者(医療クラーク)については、計画的な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医師事務作業補助体制加算(40対1)</li> </ul> <p>○医事業務専門職の増員による受付業務等の直営化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H27.4 外来受付(A～Dブロック)に医事業務専門職4人を新たに配置(計8名)し、外来受付・診断書受付等業務を直営化することにより、効率的な業務遂行を図った。</li> <li>・H28.3 健診センター受付に医事業務専門職4人を新たに配置</li> </ul>	<p>勤務時間パターンを増やし、患者の特徴にあわせて配置を行った。(食事介助の必要な患者が多い場合遅出の人数を増やす、手術開始時間が遅い場合遅出で対応等業務量の多い時間帯へ流動的に対応するなど)</p> <p>全部署からの支援時間数 単位：時間</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>18,283.4</td> <td>3982.5</td> <td>3889.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>○病棟薬剤業務実施加算(●)</p> <p>薬剤師に係る欠員充当が実施できず、加算の取得には至っていない。薬剤師の担当を病棟毎に貼り付け、業務の試行を行うことにより実績づくりを進めている。</p>	25 年度	26 年度	27 年度	18,283.4	3982.5	3889.5		
25 年度	26 年度	27 年度									
18,283.4	3982.5	3889.5									

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																					
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																				
	3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置	<p>(計4名)し、健診受付業務を直営化することにより、効率的な業務遂行を図った。</p> <p>医師事務作業補助者数ほか(各年度 3.31 時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職 種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>8 名</td> <td>6 名</td> <td>6 名</td> </tr> <tr> <td>医事業務専門職</td> <td>6 名</td> <td>7 名</td> <td>15 名</td> </tr> </tbody> </table>	職 種	25 年度	26 年度	27 年度	医療クラーク	8 名	6 名	6 名	医事業務専門職	6 名	7 名	15 名	<p>3 3 法人間の人事交流による適正な職員配置</p> <p>平成 27 年 4 月より、岐阜県総合医療センターからの出向者 1 名が下呂温泉病院職員となり、また下呂温泉病院から岐阜県総合医療センターへ出向していた職員 2 名が退職したため、平成 27 年度末においては人事交流は行っていないものの、引き続き必要に応じて 3 法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を向上する。</p> <p>他法人からの受入状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1 名</td> <td>2 名</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>検査技師</td> <td>1 名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2 名</td> <td>2 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table> <p>他法人への出向状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>2 名</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>0 名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1 名</td> <td>1 名</td> <td>名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4 名</td> <td>2 名</td> <td>0 名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	25 年度	26 年度	27 年度	薬剤師	1 名	2 名	0 名	検査技師	1 名			臨床工学技士				計	2 名	2 名	0 名	職種	25 年度	26 年度	27 年度	看護師	2 名			助産師	1 名	1 名	0 名	薬剤師	1 名	1 名	名	計	4 名	2 名	0 名			
職 種	25 年度	26 年度	27 年度																																																							
医療クラーク	8 名	6 名	6 名																																																							
医事業務専門職	6 名	7 名	15 名																																																							
職種	25 年度	26 年度	27 年度																																																							
薬剤師	1 名	2 名	0 名																																																							
検査技師	1 名																																																									
臨床工学技士																																																										
計	2 名	2 名	0 名																																																							
職種	25 年度	26 年度	27 年度																																																							
看護師	2 名																																																									
助産師	1 名	1 名	0 名																																																							
薬剤師	1 名	1 名	名																																																							
計	4 名	2 名	0 名																																																							



項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																
18	※ 人事評価システムの構築		<p>意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成 27 年度も導入に向けて検討を行ってきた。</p> <p>また、職員の実績や資格等に対しても、再評価し、特別昇給により職員のモチベーションが下がらないように行った。</p> <p>看護部においては、クリニカルラダー評価により昇格・昇任特別昇給を実施した。また非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評価後、師長・部長等面接を行うことにより、勤労意欲向上に努めた。組織が望む能力を示したことで各自振り返り、教育への希望や業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。</p>	III																		
19	※ 事務部門の専門性の向上		<p>【医事課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DCP 様式 1 活用セミナー 1 名</li> <li>・院内がん登録研修会 2 名</li> <li>・県ソーシャルワーカー協会研修 1 名</li> <li>・診療情報管理士資格取得に向けた通信教育受講 2 名</li> <li>・診療報酬管理研修会 2 名</li> </ul> <p>【総務課・経営企画課職員】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BCP 管理研修 3 名</li> <li>・診療報酬改定関連研修 3 名</li> </ul> <p>事務職員の状況 (各年 3.31 時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td>13 名</td> <td>16 名</td> <td>19 名</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>13 名</td> <td>9 名</td> <td>8 名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26 名</td> <td>25 名</td> <td>27 名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	25 年度	26 年度	27 年度	プロパー	13 名	16 名	19 名	県派遣	13 名	9 名	8 名	合計	26 名	25 名	27 名	III		
区分	25 年度	26 年度	27 年度																			
プロパー	13 名	16 名	19 名																			
県派遣	13 名	9 名	8 名																			
合計	26 名	25 名	27 名																			
20	※ コンプライアンス (法令や倫理の遵守) の徹底		<p>医療情報の情報開示については、岐阜県個人情報保護条例及び岐阜県情報公開条例に基づき、適切な対応を行った。</p>	III																		
21	※ 適切な情報管理		<p>院内の情報セキュリティ対策の充実及びチェック体制の確立のため内部組織を変更し、平成 28 年度より経営企画課に情報担当を置くこととした。</p>	III																		

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
	※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約や複合契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。
	※ 収入の確保 地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、病床利用率や医療機器の稼働率を高め、収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。
	※ 費用の削減 薬剤・診療材料の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品(ジェネリック医薬品)の採用などにより費用の節減に努めること。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
22	※ 多様な契約手法の導入		<b>【管財】</b> 維持管理業務について、以下のものについて平成26年度からの3年間の複数年契約とし、契約事務の集約化・簡素化・効率化を図るとともに、経費の節減に努めた。 ・警備業務 ・機械、監視室等保全管理及び電話交換業務 ・建物清掃委託業務 <b>【用度】</b> 医療機器のメンテナンス費用(保守委託)については、入札・見積合わせ等競争原理を導入することにより、経費の削減を図った。今後も医療機器購入時にメンテナンス費用も含めた総価での入札、保守を含むリース等の導入方法を検討し、購入の際にも積極的に活用することで、コストの圧縮に努める。 <b>【医事課】</b> 医事委託業務について、現場単位で業務設計の整理・見直しを行い、これまでの委託業務の一部を削減し、更に入札を執行することで、委託経費の削減を行うことができた。	III		
23	※ 収入の確保 1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用		1 効率的な病床管理、医療機器の効果的な活用 病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう病床管理の徹底を引き続き実施。 「地域包括ケア病棟」について、これまでの東4病棟に加えて、3月から西4病棟を新設し、効率的な運用による入院収益の向上を図った。	III		

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																								
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																																								
			<p>○病床利用率(新病院:26年5月分から)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東3</td> <td>51.1%</td> <td>63.3%</td> </tr> <tr> <td>東4(包括ケア)</td> <td>63.6%</td> <td>77.1%</td> </tr> <tr> <td>東5</td> <td>86.6%</td> <td>84.1%</td> </tr> <tr> <td>西3(回復期)</td> <td>82.9%</td> <td>92.5%</td> </tr> <tr> <td>西4(包括ケア)</td> <td>63.6%</td> <td>60.0%</td> </tr> <tr> <td>西5</td> <td>74.2%</td> <td>70.2%</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>70.5%</td> <td>74.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 届出病床数206床  注2) 東4:H26.9~地域包括ケア病棟移行  注3) 西4:H28.3~地域包括ケア病棟移行</p> <p>○その他の指標(単位:収益:千円,単価:円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>58,640名</td> <td>52,188名</td> <td>55,812名</td> </tr> <tr> <td>1日平均入院患者数</td> <td>161名</td> <td>143名</td> <td>153名</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>17.8日</td> <td>15.1日</td> <td>14.4日</td> </tr> <tr> <td>入院収益</td> <td>2,250,082</td> <td>2,052,001</td> <td>2,067,139</td> </tr> <tr> <td>入院診療単価</td> <td>38,371</td> <td>39,319</td> <td>37,038</td> </tr> <tr> <td>外来延患者数</td> <td>88,223名</td> <td>86,434名</td> <td>87,224名</td> </tr> <tr> <td>1日平均外来患者数</td> <td>362名</td> <td>354名</td> <td>359名</td> </tr> <tr> <td>外来収益</td> <td>936,362</td> <td>973,889</td> <td>1,004,303</td> </tr> <tr> <td>外来診療単価</td> <td>10,614</td> <td>11,267</td> <td>11,523</td> </tr> <tr> <td>室料差額収益</td> <td>18,077</td> <td>7,553</td> <td>8,207</td> </tr> <tr> <td>受託検査収益</td> <td>2,490</td> <td>2,209</td> <td>1,976</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1) 平均在院日数は重症者・回復期病棟等を除く  注2) 金額は税込で表示</p>	病棟	26年度	27年度	東3	51.1%	63.3%	東4(包括ケア)	63.6%	77.1%	東5	86.6%	84.1%	西3(回復期)	82.9%	92.5%	西4(包括ケア)	63.6%	60.0%	西5	74.2%	70.2%	全体	70.5%	74.0%	項目	25年度	26年度	27年度	入院延患者数	58,640名	52,188名	55,812名	1日平均入院患者数	161名	143名	153名	平均在院日数	17.8日	15.1日	14.4日	入院収益	2,250,082	2,052,001	2,067,139	入院診療単価	38,371	39,319	37,038	外来延患者数	88,223名	86,434名	87,224名	1日平均外来患者数	362名	354名	359名	外来収益	936,362	973,889	1,004,303	外来診療単価	10,614	11,267	11,523	室料差額収益	18,077	7,553	8,207	受託検査収益	2,490	2,209	1,976		
病棟	26年度	27年度																																																																											
東3	51.1%	63.3%																																																																											
東4(包括ケア)	63.6%	77.1%																																																																											
東5	86.6%	84.1%																																																																											
西3(回復期)	82.9%	92.5%																																																																											
西4(包括ケア)	63.6%	60.0%																																																																											
西5	74.2%	70.2%																																																																											
全体	70.5%	74.0%																																																																											
項目	25年度	26年度	27年度																																																																										
入院延患者数	58,640名	52,188名	55,812名																																																																										
1日平均入院患者数	161名	143名	153名																																																																										
平均在院日数	17.8日	15.1日	14.4日																																																																										
入院収益	2,250,082	2,052,001	2,067,139																																																																										
入院診療単価	38,371	39,319	37,038																																																																										
外来延患者数	88,223名	86,434名	87,224名																																																																										
1日平均外来患者数	362名	354名	359名																																																																										
外来収益	936,362	973,889	1,004,303																																																																										
外来診療単価	10,614	11,267	11,523																																																																										
室料差額収益	18,077	7,553	8,207																																																																										
受託検査収益	2,490	2,209	1,976																																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証												
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項											
2	未収金の発生防止対策等	<p>2 未収金の発生防止対策等</p> <p>未収金発生防止については、入院費用等に高額療養費限度額適用(現物給付)や出産育児一時金直接支払制度利用等勧めるとともに、医療相談により、各種福祉制度の申請や市の福祉担当者との連携を図るなど、診療費の負担軽減に努めた。</p> <p>発生した未収金に対しては、電話や臨宅による催告必要に応じて実施し、分納制度を活用するなどして回収に努めた。</p> <p>回収困難な案件の中には、顧問弁護士と連携して少額訴訟手続きを進めることによって、自主納付された例があった。</p> <p>28年度以降においても、少額訴訟の活用等により、積極的な未収金回収を推進する。</p> <p><b>【参考】未収金の発生状況と回収額(金額:千円)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現年度件数</td> <td>276件</td> <td>204件</td> <td>214件</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>5,078</td> <td>4,267</td> <td>7,665</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額。  ※H27 値には、交通事故による手続のため損保から支払が遅くなった「1件、2,588千円」を含む。</p>	項目	25年度	26年度	27年度	現年度件数	276件	204件	214件	未収金額	5,078	4,267	7,665			
項目	25年度	26年度	27年度														
現年度件数	276件	204件	214件														
未収金額	5,078	4,267	7,665														
3	施設基準の取得		<p>3 施設基準の取得</p> <p>地域に必要な病床機能を確保するため、平成28年3月より地域包括ケア病棟入院料Ⅰの算定病棟を増やし、2病棟とした。</p> <p>その他、以下の施設基準を届出・算定開始。</p> <p>&lt;基本&gt;</p> <p>○データ提出加算2 H27.4.1 取得</p> <p>&lt;特掲&gt;</p> <p>○在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料 H27.4.1 取得</p> <p>○輸血管理料Ⅱ H27.11.1 取得</p> <p>○輸血適正使用加算 H27.11.1 取得</p>														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																													
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																												
	4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応		4 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 診療報酬の改定に対応するため、医事課及び経営企画課職員が、外部で行われた各種研修会へ参加するとともに、院内各部署への説明会を行った。																															
24	※ 費用の削減 1 在庫管理の徹底等          2 後発医薬品の効率的採用	1 在庫管理の徹底等 医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮に努めることで費用節減を図ったほか、より安価な物品の発掘に努め、医療現場、各委員会での採用をを諮り、積極的に類似物品の切り替えを実施した。  ○医薬収益に対する材料費比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>11.6%</td> <td>11.7%</td> <td>10.2 %</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>7.2%</td> <td>7.1%</td> <td>5.6 %</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>1.2%</td> <td>1.0%</td> <td>1.0 %</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>20.0%</td> <td>19.8%</td> <td>16.8 %</td> </tr> </tbody> </table>	項目	25 年度	26 年度	27 年度	薬品費	11.6%	11.7%	10.2 %	診療材料費	7.2%	7.1%	5.6 %	給食材料費	1.2%	1.0%	1.0 %	材料全体	20.0%	19.8%	16.8 %	2 後発医薬品の効率的採用 なおジェネリック医薬品については、移転を機に採用の見直しを図ったため、採用率が低下した。今後、検討を重ね、逐次品目を増加していく予定。(●)  ○ジェネリック医薬品の採用比率 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25 年度</th> <th>26 年度</th> <th>27 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採用比率※</td> <td>23.4 %</td> <td>8.8 %</td> <td>9.3 %</td> </tr> </tbody> </table> ※品目ベース		25 年度	26 年度	27 年度	採用比率※	23.4 %	8.8 %	9.3 %	III		
項目	25 年度	26 年度	27 年度																															
薬品費	11.6%	11.7%	10.2 %																															
診療材料費	7.2%	7.1%	5.6 %																															
給食材料費	1.2%	1.0%	1.0 %																															
材料全体	20.0%	19.8%	16.8 %																															
	25 年度	26 年度	27 年度																															
採用比率※	23.4 %	8.8 %	9.3 %																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
	3 経営意識の向上		3 経営意識の向上 経営概要（業務量、収支状況）を院内の掲示板「サイボウズ」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、日々の業務において改善できることは直ぐに実行し、費用削減に努めた。			
	4 内部牽制機能の強化		4 内部牽制機能の強化 物品の請求の際は各部署において責任者（看護部の場合は各セクション責任者から看護部）の承認を受けて請求する等の内部管理体制を徹底した。規程に基づき内部監査を実施。 平成 26 年度の総務課管理調整係の執行内容を対象にした監査に引き続き、平成 27 年度は、医事課及び経営企画課の執行内容について内部監査を実施した。			

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上を達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院のうち黒字病院であるものの当該比率の平均値を参考に、中期計画にその目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
------	---

項目No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己評価	評価委員会の検証													
				検証結果	検証結果の説明、特筆すべき事項													
25	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標の期間の最終年度までに、経常収支比率を100%以上及び職員給与費対医業収益比率を60%以下とすることを旨とする。		<p>【経常収支比率】(●)</p> 年度計画の設定比率89.5%に対して、決算では86.6%となり、2.9ポイント計画を下回った。 <p>【職員給与費対医業収益比率】(●)</p> 年度計画における比率71.8%に対し、決算では80.9%と9.1ポイント下回った。医師確保や看護体制の維持のために必要な人件費に対し、それに見合う収益が得られなかったことが、計画を下回った要因となっている。 <p>来期以降も引き続き経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率60%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>経常収支比率・職員給与費対医業収益比率</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経常収支</td> <td>95.9%</td> <td>81.6%</td> <td>86.6%</td> </tr> <tr> <td>職員給与費対医業収益</td> <td>79.2%</td> <td>83.3%</td> <td>80.9%</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	経常収支	95.9%	81.6%	86.6%	職員給与費対医業収益	79.2%	83.3%	80.9%	II		
	25年度	26年度	27年度															
経常収支	95.9%	81.6%	86.6%															
職員給与費対医業収益	79.2%	83.3%	80.9%															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																																
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																															
			<p>1 予算に対する実績（予算執行状況） （単位：百万円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">収入</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>4,042</td> </tr> <tr> <td>  医業収益</td> <td>3,222</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>794</td> </tr> <tr> <td>  その他営業収益</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>79</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金収益</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>  その他営業外収益</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>  その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,669</td> </tr> <tr> <td colspan="2">支出</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>4,007</td> </tr> <tr> <td>  医業費用</td> <td>3,793</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>2,412</td> </tr> <tr> <td>    材料費</td> <td>582</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>786</td> </tr> <tr> <td>    研究研修費</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>110</td> </tr> <tr> <td>  建設改良費</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>  償還金</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>  その他資本支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>394</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,620</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。</p>	区 分	金 額	収入		営業収益	4,042	医業収益	3,222	運営費負担金収益	794	その他営業収益	26	営業外収益	79	運営費負担金収益	64	その他営業外収益	15	資本収入	63	長期借入金	3	運営費負担金	60	その他資本収入	0	その他の収入	485	計	4,669	支出		営業費用	4,007	医業費用	3,793	給与費	2,412	材料費	582	経費	786	研究研修費	13	一般管理費	214	給与費	141	経費	73	営業外費用	109	資本支出	110	建設改良費	14	償還金	96	その他資本支出	0	その他の支出	394	計	4,620		
区 分	金 額																																																																				
収入																																																																					
営業収益	4,042																																																																				
医業収益	3,222																																																																				
運営費負担金収益	794																																																																				
その他営業収益	26																																																																				
営業外収益	79																																																																				
運営費負担金収益	64																																																																				
その他営業外収益	15																																																																				
資本収入	63																																																																				
長期借入金	3																																																																				
運営費負担金	60																																																																				
その他資本収入	0																																																																				
その他の収入	485																																																																				
計	4,669																																																																				
支出																																																																					
営業費用	4,007																																																																				
医業費用	3,793																																																																				
給与費	2,412																																																																				
材料費	582																																																																				
経費	786																																																																				
研究研修費	13																																																																				
一般管理費	214																																																																				
給与費	141																																																																				
経費	73																																																																				
営業外費用	109																																																																				
資本支出	110																																																																				
建設改良費	14																																																																				
償還金	96																																																																				
その他資本支出	0																																																																				
その他の支出	394																																																																				
計	4,620																																																																				



項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																											
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																											
			<p>2 収支計画に対する実績 (損益計算書) (単位: 百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益の部</td> <td>4,595</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>4,030</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>3,211</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>793</td> </tr> <tr> <td>    資産見返負債戻入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他営業収益</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>  臨時利益</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>費用の部</td> <td>5,125</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>4,447</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>4,221</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>2,455</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>745</td> </tr> <tr> <td>      減価償却費</td> <td>467</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>  一般管理費</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>    給与費</td> <td>144</td> </tr> <tr> <td>    減価償却費</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>    経費</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>299</td> </tr> <tr> <td>  臨時損失</td> <td>379</td> </tr> <tr> <td>  予備費</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>純利益</td> <td>▲530</td> </tr> <tr> <td>目的積立金取崩額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>総利益</td> <td>▲530</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。</p>	区 分	金 額	収益の部	4,595	営業収益	4,030	医業収益	3,211	運営費負担金収益	793	資産見返負債戻入	0	その他営業収益	26	営業外収益	80	運営費負担金収益	64	その他営業外収益	16	臨時利益	485	費用の部	5,125	営業費用	4,447	医業費用	4,221	給与費	2,455	材料費	542	経費	745	減価償却費	467	研究研修費	12	一般管理費	226	給与費	144	減価償却費	22	経費	60	営業外費用	299	臨時損失	379	予備費	0	純利益	▲530	目的積立金取崩額	0	総利益	▲530			
区 分	金 額																																																															
収益の部	4,595																																																															
営業収益	4,030																																																															
医業収益	3,211																																																															
運営費負担金収益	793																																																															
資産見返負債戻入	0																																																															
その他営業収益	26																																																															
営業外収益	80																																																															
運営費負担金収益	64																																																															
その他営業外収益	16																																																															
臨時利益	485																																																															
費用の部	5,125																																																															
営業費用	4,447																																																															
医業費用	4,221																																																															
給与費	2,455																																																															
材料費	542																																																															
経費	745																																																															
減価償却費	467																																																															
研究研修費	12																																																															
一般管理費	226																																																															
給与費	144																																																															
減価償却費	22																																																															
経費	60																																																															
営業外費用	299																																																															
臨時損失	379																																																															
予備費	0																																																															
純利益	▲530																																																															
目的積立金取崩額	0																																																															
総利益	▲530																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																																																				
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																																																				
			<p><b>3 資金計画に対する実績</b> (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>7,269</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>4,108</td> </tr> <tr> <td>  診療業務による収入</td> <td>3,182</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金による収入</td> <td>858</td> </tr> <tr> <td>  その他の業務活動による収入</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>494</td> </tr> <tr> <td>  運営費負担金による収入</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>  その他の投資活動による収入</td> <td>485</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>56</td> </tr> <tr> <td>  長期借入による収入</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>  その他の財務活動による収入</td> <td>53</td> </tr> <tr> <td>前事業年度からの繰越金</td> <td>2,611</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>7,269</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>4,226</td> </tr> <tr> <td>  給与費支出</td> <td>2,280</td> </tr> <tr> <td>  材料費支出</td> <td>589</td> </tr> <tr> <td>  その他の業務活動による支出</td> <td>1,357</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>403</td> </tr> <tr> <td>  有形固定資産の取得による支出</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>  その他の投資活動による支出</td> <td>391</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>  長期借入金の返済による支出</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>  前前地方債還付金の償還による支出</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>  その他財務活動による支出</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>翌事業年度への繰越金</td> <td>2,544</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注1) 各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、各項目ごとの数値の合計と計の欄の数値は一致しないことがある。</p>	区 分	金 額	資金収入	7,269	業務活動による収入	4,108	診療業務による収入	3,182	運営費負担金による収入	858	その他の業務活動による収入	68	投資活動による収入	494	運営費負担金による収入	9	その他の投資活動による収入	485	財務活動による収入	56	長期借入による収入	3	その他の財務活動による収入	53	前事業年度からの繰越金	2,611	資金支出	7,269	業務活動による支出	4,226	給与費支出	2,280	材料費支出	589	その他の業務活動による支出	1,357	投資活動による支出	403	有形固定資産の取得による支出	12	その他の投資活動による支出	391	財務活動による支出	96	長期借入金の返済による支出	34	前前地方債還付金の償還による支出	62	その他財務活動による支出	0	翌事業年度への繰越金	2,544		
区 分	金 額																																																								
資金収入	7,269																																																								
業務活動による収入	4,108																																																								
診療業務による収入	3,182																																																								
運営費負担金による収入	858																																																								
その他の業務活動による収入	68																																																								
投資活動による収入	494																																																								
運営費負担金による収入	9																																																								
その他の投資活動による収入	485																																																								
財務活動による収入	56																																																								
長期借入による収入	3																																																								
その他の財務活動による収入	53																																																								
前事業年度からの繰越金	2,611																																																								
資金支出	7,269																																																								
業務活動による支出	4,226																																																								
給与費支出	2,280																																																								
材料費支出	589																																																								
その他の業務活動による支出	1,357																																																								
投資活動による支出	403																																																								
有形固定資産の取得による支出	12																																																								
その他の投資活動による支出	391																																																								
財務活動による支出	96																																																								
長期借入金の返済による支出	34																																																								
前前地方債還付金の償還による支出	62																																																								
その他財務活動による支出	0																																																								
翌事業年度への繰越金	2,544																																																								

#### 4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	※ 短期借入金の限度額 1 限度額  2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 5億円  2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	一		

#### 5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	※ 出資等に係る不要財産又は出資 等に係る不要財産となることが見 込まれる財産がある場合には、当該 財産の処分に関する計画		・ 下呂市への旧病院用地売却 485 百万円 ・ 旧病院解体費用等 ▲379 百万円	一		

#### 6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	※ 重要な財産を譲渡し、又は担保に 供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	一		

#### 7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
一	※ 剰余金の使途		・ 該当なし	一		

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の就労環境の向上	職員の実情等を考慮した柔軟な勤務形態の導入、院内保育施設等の整備・拡充といった育児支援体制の充実など、日常業務の質の向上を図るために必要な職員の就労環境の整備に努めること。 さらに、地方独立行政法人制度の特徴を十分に生かし、医療従事者を必要数確保することによって、病院職員全体の勤務環境を改善すること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実に行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																													
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																													
26	※ 職員の就労環境の向上 1 職員の就労環境の整備		<p>1 職員の就労環境の整備 ○医師事務作業補助者(医療クラーク)の雇用による医師の負担軽減 医師事務作業補助者による診断書の下書き・病名代行人力・着任医師に対する電子カルテ作業説明、退院サマリの作成補助、各種登録事務などにより、医師の事務負担を軽減し勤務環境の改善を図った。</p> <p>(各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>常勤医師数</td> <td>24名</td> <td>23名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>常勤歯科医師数</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>常勤看護師数</td> <td>182名</td> <td>185名</td> <td>185名</td> </tr> <tr> <td>常勤准看護師数</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>医療クラーク</td> <td>8名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>看護クラーク</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	常勤医師数	24名	23名	19名	常勤歯科医師数	2名	2名	2名	常勤看護師数	182名	185名	185名	常勤准看護師数	1名	1名	1名	医療クラーク	8名	6名	6名	看護クラーク	—	—	—	III		
	25年度	26年度	27年度																															
常勤医師数	24名	23名	19名																															
常勤歯科医師数	2名	2名	2名																															
常勤看護師数	182名	185名	185名																															
常勤准看護師数	1名	1名	1名																															
医療クラーク	8名	6名	6名																															
看護クラーク	—	—	—																															
	2 職員の健康管理対策の充実		<p>2 職員の健康管理対策の充実 健康管理対策実施状況 【健康診断関係】</p>																															

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証													
				検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項													
	3 院内保育施設の充実		<p>○定期健康診断 受診数 163 名 ○特殊健康診断(有機溶剤) 受診数 6 名 ○特殊健康診断(深夜業務・X線) 受診数 173 名 ○人間ドック 受診数 135 名 ※以上常勤職員について記載</p> <p>【健康管理セミナー】 ○「ストレッチとハツラツ体操」 市内で運動療法を指導するインストラクターを講師に招き、職員の疾病予防及び心身の健康づくりのために、効果的なストレッチを取り入れた体力づくりについて講義と実践指導を受けた。 開催日時：10月1日 開催場所：下呂市アクティブ 出席人数：36名</p> <p>3 院内保育施設の充実 ○院内保育所 幼児を持つ病院職員が働きやすい環境整備に努め、27年度は9名の託児を受け入れた。 また、平成24年6月から制度化された土曜保育は、毎回利用者があり、病院職員の勤務体制確立の一役を担っている。</p> <p>院内保育所の運営状況(各年3.31時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>17名</td> <td>10名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>保育士数</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table>		25年度	26年度	27年度	入所児童数	17名	10名	9名	保育士数	4名	4名	4名			
	25年度	26年度	27年度															
入所児童数	17名	10名	9名															
保育士数	4名	4名	4名															
27	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携に関する事項		<p>○人事交流 再掲：(項目No.17) 平成27年4月より、岐阜県総合医療センターからの出向者1名が下呂温泉病院職員となり、また下呂温泉病院から岐阜県総合医療センターへ出向していた職員2名が退職したため、平成27年度末においては人事交流は行っていないものの、引き続き必要に応じて3法人間で相互に職員を派遣し、医療サービスの水準を向上する。</p>	III														

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証									
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項								
28	※ 施設・医療機器の整備に関する事項 1 医療機器の計画的な更新・整備          2 施設の計画的な整備		1 医療機器の計画的な更新・整備 ○計画的な更新・整備 ・病院移転後の財務状況から、27年度は老朽化、メンテナンス終了後の故障機器等使用不能により日々の診療に支障を来す機器の更新・整備を中心に実施した。  ○27年度導入医療機器 新生児聴力検査装置 他 7品目 計 12,554 千円  ○国庫補助金の活用による整備 ・平成 27 年度は、実績なし  2 施設の計画的な整備 職員の福利厚生施設（別棟）の整備については、経営状況の改善に努め、その状況に応じて、検討に着手する。	III										
29	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		岐阜県に対し負担する債務について、次のとおり償還を行った。  ○当期の償還状況 (移行前地方債償還債務) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>664,830,804 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>62,185,320 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>602,645,484 円</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金額	期首残高	664,830,804 円	当期償還額	62,185,320 円	期末残高	602,645,484 円	III		
区 分	金額													
期首残高	664,830,804 円													
当期償還額	62,185,320 円													
期末残高	602,645,484 円													

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証																							
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項																						
			(長期借入金) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>5,174,660,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期借入額</td> <td>2,500,000 円</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>33,620,000 円</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>5,143,540,000 円</td> </tr> </tbody> </table> ○年度別の償還状況 (単位:百万円) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1期中期計画期間 (H22-26 計)</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>934</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">27 年度</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金額	期首残高	5,174,660,000 円	当期借入額	2,500,000 円	当期償還額	33,620,000 円	期末残高	5,143,540,000 円	年度	実績		第1期中期計画期間 (H22-26 計)	移行前地方債償還債務	934	長期借入金償還額	62	27 年度	移行前地方債償還債務	62	長期借入金償還額	34		
区 分	金額																											
期首残高	5,174,660,000 円																											
当期借入額	2,500,000 円																											
当期償還額	33,620,000 円																											
期末残高	5,143,540,000 円																											
年度	実績																											
第1期中期計画期間 (H22-26 計)	移行前地方債償還債務	934																										
	長期借入金償還額	62																										
27 年度	移行前地方債償還債務	62																										
	長期借入金償還額	34																										

8-5 中期目標の期間を超える債務負担

項目 No.	中期計画の取組項目	H27 年度計画で特に進捗した取組	その他の主な取組/今後の課題・問題点(●)	自己 評価	評価委員会の検証	
					検証 結果	検証結果の説明、 特筆すべき事項
-	-	-	-	-		